

令和2年度 上半期(令和2年4月～令和2年9月) 財政状況をお知らせします

問 財務課 財政係 ☎62-9126

◆一般会計の状況

令和2年度上半期では、当初予算に24億8,746万円を追加し、予算総額は99億3,146万円となりました。本年度は新型コロナウイルス感染症に対応するための予算の補正を行っています。

感染防止対策や緊急経済対策のために追加した予算は20億3,383万円で、国が一律に給付する特別定額給付金と子育て世帯臨時特別給付金を除くと、5億5,648万円となっています。各事業の財源については、国の補助金等を活用するとともに、財政調整基金を取り崩して事業を進めていきます。

◆新型コロナウイルス感染症対策のための主な事業

国からの給付金	1人あたり10万円を給付する特別定額給付金	14億5,700万円
	児童1人あたり1万円を給付する子育て世帯臨時特別給付金	2,350万円
医療機関等の支援	医療機関等への感染対策経費に対する奨励金や運営費の支援、医療従事者への応援金を給付	1,250万円
	医療機関・介護施設等への防護具等の購入	227万円
	介護保険事業所や障害福祉事業所を運営する法人に対する感染防止対策のための奨励金	207万円
事業者・町民の支援	国の持続化給付金へ最大20万円の追加給付	1億2,000万円
	事業者と町民を応援するため1人あたり9千円の振興券を発行	1億1,500万円
	中小企業者等の町県制度資金を利用するための保証料と利子補給金の増額	4,500万円
	2大観光施設を核とした広告宣伝と施設の無料開放および環境整備	5,200万円
	2大観光施設の従業員の雇用継続を図るため町施設の環境整備等の業務委託	2,496万円
	住宅リフォーム事業の需要を喚起して建築関連事業者を支援するため最大20万円を従来の補助金に追加	1,200万円
	経営の安定化を図るため道の駅信州葛木宿への運営資金の支援	3,800万円
	県の休業要請に応じた事業者に対して県と協調して30万円(町10万円)の協力金を支給	1,000万円
	飲食店が新たに始めるデリバリー事業の一部を補助	200万円
	飲食業の支援と町民の消費喚起を図るため同級会支援事業補助金の要件を緩和し同級会支援事業を推進	200万円
給付金	特別定額給付金および子育て世帯臨時特別給付金の給付後に出生した児童に対し1人あたり11万円の祝い金を支給	970万円
	感染症の影響を受けているひとり親世帯を支援するため児童扶養手当受給世帯に児童1人あたり3万円を支給	515万円
保育園・学校	小中学校のタブレット端末整備や遠隔学習強化など	6,096万円
	感染症防止のための換気対策として保育園と小中学校に網戸を設置	907万円
	臨時休校となった小中学生の学習支援および修学旅行キャンセル料などの家庭への経済的負担を支援	833万円
	保育園や子育て支援施設における感染防止対策用の物品購入	815万円
	小中学校における感染防止対策用の物品購入	588万円
	保育園の登園自粛による保育料および給食費、児童クラブの利用自粛による利用料の返還	220万円
	中体連中止のため3年間の思い出として中学3年生へ記念品を贈呈	10万円
その他	役場や避難所における感染防止および衛生環境を確保するための物品購入	2,223万円
	役場におけるWeb会議対応のためのネットワーク整備	768万円
	保健センターの3密対策としてエアコン設置	686万円
	テレワーク推進のため富士見森のオフィスのコワーキング利用者補助の増額	374万円
	妊産婦のオンラインによる個別相談や教室開催対応のためのネットワーク整備	314万円
	介護予防の場の活動自粛対策として介護予防のためのストレッチ・体操番組の制作と放映	250万円
	消防団員への感染防止対策のための物品購入	221万円

◆その他の主な事業

災害防止対策のための河川改修	1億8,590万円	災害防止対策のための小学校の支障木伐採	1,455万円
災害防止対策のための水路改修	5,200万円	小学校プール防水改修工事	458万円
災害防止対策のための河畔林整備	550万円	学校への寄附金による備品購入	50万円
道路改良・維持修繕事業	4,119万円	指定文化財保護管理補助金	51万円
防災ステーション建設	6,349万円	広原遺跡埋蔵文化財調査	377万円
コミュニティ助成事業補助金	390万円	ゆとりる支障木伐採	363万円
強い農業・担い手づくり支援事業	1,285万円	森山汀川歌碑公園復旧工事	840万円
テンサイシストセンチュウ防除協力金	123万円	住宅リフォーム補助金の増額	610万円

●住民の負担状況

会計	区分	予算額	収入額	支出額
一般会計	1人あたり	69万164円	38万1,646円	32万7,803円
	世帯あたり	165万8,837円	91万7,302円	78万7,887円
特別会計	1人あたり	15万9,516円	8万3,476円	5万4,122円
	世帯あたり	38万3,404円	20万638円	13万84円

※令和2年4月1日時点の人口14,390人、5,987世帯で計算

●公債費の状況

区分	令和元年度末	令和2年度上半期			令和2年9月末
	残高	借入額	元金償還額	利子償還額	残高
一般会計	54億8,883万円	－	2億5,897万円	1,252万円	52億2,987万円
水道事業会計	4億2,807万円	－	4,271万円	688万円	3億8,536万円
下水道事業会計	48億1,773万円	－	3億4,850万円	5,752万円	44億6,923万円

●会計別執行状況

(令和2年9月30日現在)

区分		予算現額	収入済額	収納率	支出済額	執行率	
一般会計		99億3,146万円	54億9,189万円	55.3%	47億1,708万円	47.5%	
特別会計	国民健康保険特別会計	14億4,278万円	9億309万円	62.6%	5億7,918万円	40.1%	
	後期高齢者医療特別会計	2億2,417万円	10,551万円	47.1%	7,233万円	32.3%	
	観光施設貸付事業特別会計	1億8,931万円	826万円	4.4%	2,217万円	11.7%	
	富士見財産区特別会計	1,201万円	553万円	46.0%	129万円	10.7%	
	本郷・落合・境財産区特別会計	4億2,037万円	1億7,525万円	41.7%	1億308万円	24.5%	
	乙事財産区特別会計	680万円	358万円	52.6%	76万円	11.2%	
企業会計	水道事業会計	収入	6億5,579万円	1億7,182万円	26.2%		
		支出	10億2,602万円			1億6,443万円	16.0%
	下水道事業会計	収入	15億1,817万円	5億6,427万円	37.2%		
		支出	18億3,696万円			5億3,608万円	29.2%

※特別会計とは、特定の収入を特定事業の支出に充てる場合で、独立採算させて経理を明らかにするために設けた会計です。